



I.M.第5組実行委員長 矢野 巖

(大阪大淀RC)

2月2日(土)、リッツカールトン大阪で、新谷秀一G・地区役員7名のご臨席を賜わり、第5組13クラブ200余名の参加会員と共に、I Mが開催されました。

ホストクラブは大阪大淀RC。当I M実行委員会では、今皆さまの最大の関心事であります、急激な成長の道をたどる中国を中心に、その周辺国へ及ぶあまりにも大きい変化の潮流のなかでの、諸々の問題を考えるシンポジウムを企画しました。

メインテーマは「東アジアと日本の進路」そして「関西の役割」をサブテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

パネリストは、大阪府布施市政から数々の大臣を歴任された、塩川正十郎(現東洋大学

総長)、そして、防衛庁・外務省・在米日本大使館を経、安全保障・防衛問題・軍備管理のスペシャリストであります森本敏(現拓殖大学海外事情研究所長)、そして紅一点、元NHK女性ニュースキャスター国際政治を専門分野とされる宮崎緑(現千葉商科大学政策情報学部教授)の3講師。読売TVメインキャスター辛坊治郎(同報道局次長・解説副委員長)のコーディネートにより、東アジアでの歴史的背景、政治政策、エネルギー事情、流通アクセスの実体、情報・環境・文化…、多岐にわたる政策プランの提案と、会員との意見交換がなされました。

隣室に用意された懇親会では、諸先生と直接懇談できた意義深い5時間が終幕しました。

